

## 8 治療を受けることになりました。 不安でいっぱいです。

**A** 医療費のこと、お仕事のこと、入院の有無、副作用のことなど、さまざまな不安があるでしょう。たくさんの専門家がサポートしていくので安心してください。

### ● かかりつけ医と肝臓の専門医

肝炎の治療は、かかりつけ医と肝臓の専門医が連携した「診療連携」で行われます。かかりつけ医は、定期的な血液検査や体調管理など、日常的な診察を行いながら治療を進めていきます。肝臓の専門医は、詳しい検査をしたり、治療方針を決めたり、3～6ヶ月に一度など、治療効果や副作用などを専門的な立場から確認し、かかりつけ医と情報を共有しながら治療を支援します。専門医のいる医療機関が遠方で通院が難しい場合でも、自宅や職場近くのかかりつけ医と連携することで、治療をスムーズに進めることができます。

### ● 治療法は進化しています

B型肝炎、C型肝炎ともに、治療は年齢や発がんリスク、過去の治療歴、ライフスタイルなどを考慮しながら進めていきます。

入院の有無や副作用のことだけではなく、治療を進めるうえで、不安に思っていること、困っていることなどがあれば、1人で悩まず、肝炎医療コーディネーターや周りの医療者などに遠慮なく相談してください。安心して治療が受けられるよう、たくさんの専門家があなたをサポートしていきます。

## 肝炎について(治療)

## ● 肝炎治療の変遷

## C型肝炎の主な経口抗ウイルス治療薬の変遷

DAA+IFN/RBV

テラプレビル

シメプレビル

パニプレビル



2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

IFNフリー  
(インターフェロンを使わない  
内服だけの治療)

アスナプレビル  
ダクラタスビルアスナプレビル  
ダクラタスビル  
ペクラブビルハーボニー  
(レジバスビル・  
ソホスビル)マヴィレット  
(グレカプレビル・  
ビブレンタスビル)エブクルーサ  
(ソホスビル・  
ベルバタスビル)

2022年10月現在



B型肝炎については 14 を参考